

第86回ワンデーセミナー  
「スマート・プランニングの活用と今後の展望」

# コンサルタントの視点から データ活用にあたってのポイント・留意事項など

- **多様なプレイヤーの間で目指す姿を共有するツール**

- 様々なトレードオフがある中で、共通する姿を目指す
  - 自動車で渋滞 vs 歩行者が不便
  - 自動車で来にくく客が減る vs 回遊が高まり客が増える
  - 駅前に機能を集積 vs 中心市街地内で機能を分散 など

- **ソフトとハード、短期と長期を踏まえた戦略を検討するためのツール**

- 様々な短期的ゲリラ的な取り組みも、時間がかかる基盤整備もそれぞれ重要であり、これを支援するツールとして期待

- **データの可視化(分析の視点)**

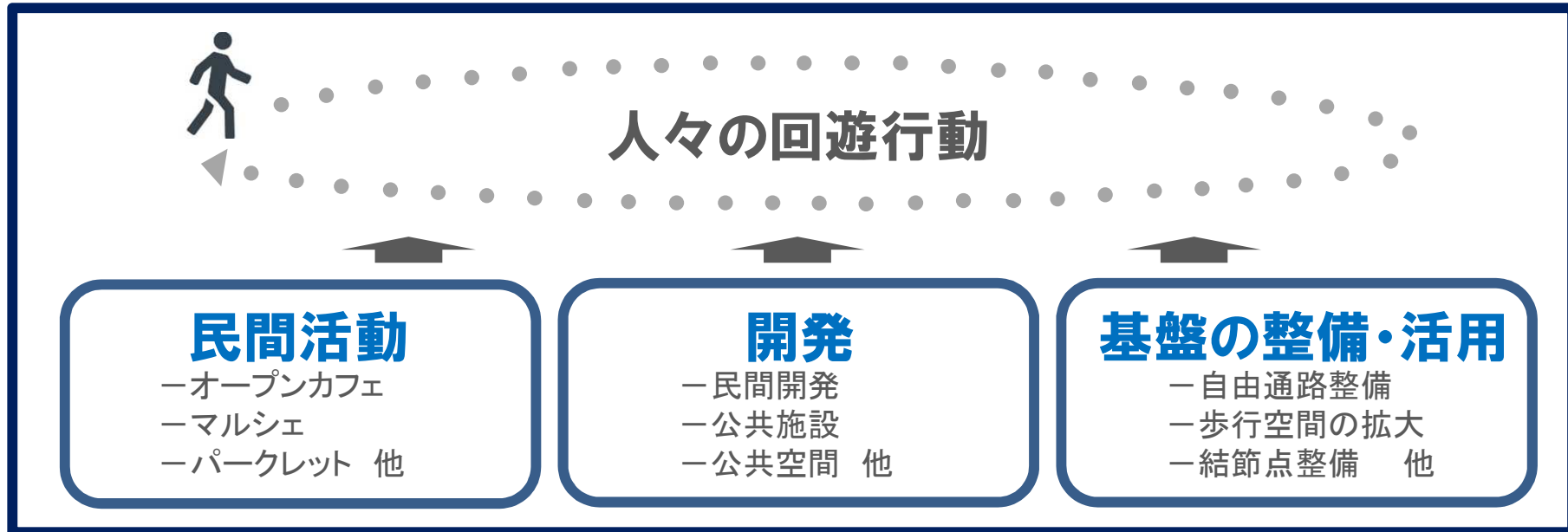
- 全体像が捉えにくい行動データの可視化, 指標化  
(目的地パターン, 利用経路, 滞在時間, 滞在箇所数等)

- **シミュレーション構築の手間**

- 行動データの下処理(クリーニング, 経路情報への変換等)
- ネットワークデータの整備(公園, デッキ, 地下街の扱い等)
- 土地利用/施設データ(1階の情報, 繁華街の扱い等)

- **モデリングやシミュレーションはプランニングの一部. コンサルタント任せは×**
  - 回遊を促す要因の検討(=説明変数)
  - 個々の施策の効果[感度]を確認(=シミュレーション)
- **計算結果が全てではない. 計算結果はあくまで, 合意形成や意思決定を支援する材料**
  - 考慮できない要素はもちろんある
  - 計算結果=結論ではない
  - 関係者との共有の場面では強力なツール

# 歩行回遊シミュレーションの活用



ツール

社会実験

シミュレーション  
(歩行, 自動車)

モニタリング

データ

調査(プローブパーソン,  
WIFIパケットセンサ等)

ビッグデータ  
(GPS, 携帯基地局など)